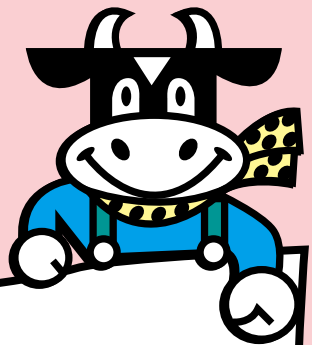


ワンポイント・アドバイス



牛のストレスを減らすために

牛舎全体を見渡してみてください。牛は快適そうに過ごしていますか？1頭1頭観察する事はとても大切な事です。しかし牛や牛舎から1歩ひいてみると、また違った一面も見えてきます。

【餌】

ちゃんと食べていますか？「食べているように見える」ということはありませんか？

飼槽に「選り食いの残餌」がある場合、ちゃんと食べているとは言えません。これではせつかくの飼料設計がもったいないです（良質な餌なら喜んで牛は食べるはず……）。



ストレスを感じてない!?毛艶もいい!

餌に集まる育成や乾乳牛。弱くてあぶれている牛はいませんか？

全ての牛がストレスなく餌を食べられる環境を作る事により、病気や栄養不足等を避ける事になります。

【水】

水は飲んでいますか？水槽は清潔です

か？水槽の数は足りていますか？水槽は20頭につき1カ所以上、一群に2カ所以上の割合で設置が必要です。ウォーターカップを使用している場合、多数の牛が一斉に飲水した場合（給餌直後など）、十分な量の水が出ない事があります。また、場所によっても水の出方が違う場合もあります。20秒間に4リットルの水が出る事が理想です。今一度牛の飲水状況を確認してみてくださいいかがでしょうか。十分な飲水が可能でないと、牛の採食量は上がりにくくなります。

【牛床】

繋ぎ牛舎・牛床に糞便は落ちていませんか？

カウトレイナーを適正に設置する事で、排泄位置はある程度調整可能です。



しっかり腹が張っていますね

フリーストール・ベッドの数は足りていますか？場所によって牛が使う頻度の「高い」・「低い」の差はありませんか？

空気が淀んでいる、ベッドが小さい、ネックバーが低いベッドには牛は好んで寝ません。

不衛生でストレスを感じる牛床では、

感染のリスクの高まり、反芻する時間の減少、採食量の低下、運動器病の発生等の問題が出てきます。

【最後に】

牛は食べて、飲んで、寝て、乳を出します。牛が大きくストレスを感じた場合、「乳量・乳質・健康」に影響がでてきます。群を判断するには他にも乳検データや繁殖成績、牛の体格（ボディ・コンディション・スコア・BCS）などもあります。また、今回ここに記した内容は牛が快適に過ごすための条件の一部です。是非一度、牛・牛舎を再確認してみてください。何か気付くことがあるかも知れませんが、ちよつとした事を改善するだけで、ストレス減↓採食量増↓乳量増・繁殖成績向上・乳質改善などが期待できるかもしれません。



選び食い……？